

取組の概要

全従業員が安全・健康に働けるようにするため ①メタボリックシンドローム（予備軍含む）の減少 ②健診の再検査受診率を上げ、自発的健康管理の定着・推進 ③健康管理データベースの作成し継続的な健康推進を目標に掲げ、従業員の健康づくりや働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

会社について

人数：100名
年齢層：10～60歳代
活動年数：14年5ヶ月

取組の詳細

○健康診断・がん検診(1)健康診断結果を社内でデータ管理できるシステムを構築(2)受診状況や有所見者に受診勧奨を行い、受診率100%に取り組む。
(3)「私の健康目標シート」を自社で作成、自発的な健康管理の定着を図っている。(4)がん検診の受診しやすい環境の整備をしている。

(成果)①再検率が平成23年は55%であったが、令和4年は100%を達成しその後も継続している。②令和6年度より健診後の結果を参考に「私の健康目標シート」を作成し、会社に提出してもらことで自発的な健康管理の定着につなげている。③35歳以上の全従業員に胃・肺・大腸がん検診を取り入れている。④乳がん・子宮頸がんの費用助成することで受診者が増加している（目標は100%）。

○たばこ対策への取組：①令和3年は「たばこ対策取組宣言」を提出。②年1回「たばこに関する研修会」を開催し、全従業員が受講できるようにしている。③屋内に喫煙所を設置し、受動喫煙防止対策に取り組んでいる。

(成果) 令和3年度の喫煙率は43.3%でしたが令和6年度の喫煙率で34.4%と徐々に減少している。目標は敷地内禁煙。

○治療と仕事の両立支援の取組：治療や受診のための柔軟な休暇取得制度、傷病休暇制度、時間単位年休取得制度等の体制がある。

(成果)地域の研修会や国主催のセミナーで取組発表を行い他の事業所へ波及している。

○その他：健康機器の設置、心の健康相談窓口の周知、インフルエンザ予防接種で感染予防体制の整備など。令和7年度からは国主催の「女性の健康課題効果検証プロジェクト」に参加し、管理職向け研修会と女性社員向けに分けて研修会を実施している。



<主体性>

3つの目標を掲げ、健康づくりに取り組んでいる。
社内で健診結果をデータベース化し、再診指示通知等の管理を行うとともに、受診がしやすい休暇制度を設け、健診結果により再診や治療が必要な社員が受診し、疾病が重症化しないような環境づくりをしている。

<独自性>

健康診断後の要再検者の把握や受診状況を管理するために社内のデータベースを構築。その結果で要再検者の受診率100%を達成している。
従業員の自発的な健康管理を進めるために「私の健康目標シート」を提出してもらっている。
女性の健康課題についてのプロジェクトに参加し、女性の健康管理に取り組んでいる

<地域貢献度>

両立支援制度の取組を研修会やセミナーで事例発表を行い。地域での取り組みの波及を図っている。
従業員の健康づくりを支援する体制や健康づくり意識を高める取組ができおり、他の事業所の模範となる取組である。

<将来性>

健康診断結果等からみえる課題を分析し、産業医等（専門職）の意見を確認しながら、課題解決への取組を行っていることから一層充実した健康づくりの取組になることが期待できる。
安全衛生委員会で取組を全従業員に周知する等、取組の見える化を図っている。

PR ポイント

○長く働ける職場の環境づくりや従業員が自発的に健康管理ができるように、社内で健診結果をデータベース管理し、再検査や受診の勧奨することで100%を達成した。また、自発的に健康増進を図るよう「私の健康目標シート」を作成し実践している。

○がん検診の費用助成、受診のための休暇制度、毎日のラジオ体操実施、健康機器の設置、イントラネットによる情報発信や研修会の実施など社内で健康づくりの意識を高める環境を整えている。

○治療と仕事の両立支援は研修会等で事例発表し地域での模範となっている。女性の健康課題についての取組を始めている。